



不屈

never give up

福岡県立 直方高等学校

スポーツ科学コース

沿革

- 昭和 61 年 4 月
体育コース設置
- 昭和 63 年 1 月
体育コーススキー実習（スキー技能検定習得）実施
（平成 17 年度まで）
- 平成 4 年 3 月
プール竣工
- 平成 9 年 3 月
多目的アリーナ（トレーニングルーム、卓球場など）竣工
- 平成 11 年 3 月
防球ネット、バックネット改築竣工
- 平成 14 年 3 月
武道場、グラウンド全面改修、全天候走路工事竣工
- 平成 17 年 4 月
体育コースをスポーツ科学コースに改編
- 平成 18 年 8 月
スキューバダイビング実習（潜水技能 3 級取得）実施
※現在も継続中
- 平成 21 年 9 月
家庭科棟（雨情館）改築工事竣工
- 平成 27 年 10 月
体育コース・スポーツ科学コース設立 30 周年記念式典

直高よりアジア・世界の舞台へ



水泳部
平山周一（体育コース 2 回生）
昭和 63 年 ソウルオリンピック男子平泳ぎ出場
宮崎義伸（体育コース 9 回生）
平成 6 年 インターハイ平泳ぎ 200m（大会新記録樹立）
ワールドカップ出場
平成 7 年 男子ジュニアオリンピック平泳ぎ 100m
短水路日本新記録樹立
平成 8 年 アトランタオリンピック男子平泳ぎ出場



男子バレーボール部
木原文裕（体育コース 5 回生）
平成 3 年 世界ユースバレーボール選手権出場
平成 4 年 春高バレー・インターハイ出場
牧 幸伸（体育コース 9 回生）
平成 7 年 世界ユースバレーボール選手権出場
平成 8 年 高校選抜日本代表カナダ遠征



陸上部
村上由紀（体育コース 7 回生）
平成 6 年 インターハイ女子 200m（第 5 位）
日本ジュニア陸上選手権女子 200m（第 5 位）
第 2 回日本・韓国・中国三対抗
ジュニア競技大会出場
女子 200m（第 3 位）
女子 400m リレー（優勝）（第 2 走者）

部活動実績



男子バレーボール部

- ・春の高校バレー全国大会出場
昭和 63 年（ベスト 8）、平成 4 年、平成 6 年、
平成 7 年、平成 10 年（ベスト 8）
- ・インターハイ出場
昭和 63 年（ベスト 8）、平成元年（ベスト 8）、
平成 4 年、平成 7 年、平成 9 年、平成 10 年
- ・国体出場 多数出場

女子バレーボール部

- ・インターハイ出場 平成 21 年
- ・国体出場
- 平成 9 年 大阪国体 井上朋美
- 15 年 静岡国体 篠崎恵利佳
- 17 年 岡山国体 筒井桃子、間普あゆみ
- 20 年 大分国体 和才菜々美
- 21 年 新潟国体 小田愛果、和才菜々美、
（ベスト 16）堀田千紘、中村幸香
- 25 年 世界ユニバーシアード大会 日本代表
南 桃加



水泳部

- ☆オリンピック選手!!
 - 平山周一 昭和 63 年男子平泳ぎ
(ソウルオリンピック出場)
 - 宮崎義伸 平成 8 年男子平泳ぎ
(アトランタオリンピック出場)
- ・インターハイ出場
平成 2～7 年、9 年、11 年、15～17 年、
平成 19～21 年、25 年
平成 9 年 坂井亮介
個人メドレー 200m (第 2 位)
- ・九州大会
平成 14 年 女子 (総合優勝)
- ・末弘杯全九州高等学校選手権
平成 13、14 年 競泳女子 (優勝)
- ・国体出場 多数出場
- ・オリンピック金メダリストによる水泳教室
平成 11 年 岩崎恭子 (バルセロナ) 選手
平成 12 年 鈴木大地 (ソウル) 選手



バスケットボール部

- ・インターハイ出場 平成 22 年
- ・国体出場
平成 22 年 千葉国体 (優勝)
瀬戸将軍、飯尾祐也、吉岡大夢
平成 24 年 岐阜国体 (5 位入賞)
松下幸広
平成 27 年 和歌山国体 (5 位入賞)
磯野寛晃



陸上部

- ・インターハイ出場
平成 3 年～13 年、17 年、20 年、23 年～25 年
平成 5 年 井上幸三 男子三段跳 (6 位)
平成 6 年 村上由紀 女子 200 m (5 位)
平成 7 年 村瀬健治郎 男子走高跳 (7 位)
- ・国体出場
平成 5 年 徳島国体 井上幸三 男子三段跳 (4 位)



剣道部

- ・全国玉竜旗 女子 (ベスト 8)
全国優秀校
- ・九州大会出場 個人 (ベスト 16)
平成 7 年 酒見智栄
- ・国体出場
平成 2 年 福岡国体 (優勝)
芹野尚江



野球部

- ・全国高等学校野球選手権福岡大会
平成 12 年 (第 3 位)
- ・九州地区高校野球大会出場
平成 13 年 (沖縄)
平成 14 年 (熊本)
- ・平成 14 年
第 75 回記念選抜高校野球大会
九州地区 21 世紀枠推薦校



サッカー部

- ・全国高校サッカー選手権福岡大会
平成 3 年、10 年 (第 3 位)
- ・国体出場
平成 19 年 秋田国体 文平祐介



特色ある実習



スキューバダイビング実習

体育コース設立以来、生涯スポーツの観点から生徒育成を図るため、1年生でキャンプ実習、2年生でスキー実習、3年生でスケート実習を実施してきた。平成18年よりスキューバダイビング実習に変更し、高等学校潜水技術検定(3級)の資格取得を目指している。



アクション実習

筋力・体力の測定を行い、今後の自己運動能力向上を図るとともに、クラスという集団の秩序を保ち集団生活の意義を考えさせることを目的とする。また、アスリートとして日常の食事による栄養の摂取について、自己の競技に結びつけ意識を高めさせる。

充実したカリキュラム

1年	国語(4)	地歴(2)	数学(3)	理科(2)	保健体育(4)	英語(5)	家庭(2)	情報(2)	☆体育(5)	総学(1)	LHR(1)
2年	国語(5)	地歴(3)	数学(2)	理科(3)	保健体育(4)	芸術(2)	英語(5)		☆体育(5)	総学(1)	LHR(1)
3年	国語(5)	地歴(2)	公民(3)	数学(2)	理科(3)	体育(2)	英語(7)		☆体育(5)	総学(1)	LHR(1)

体育(15)は、『スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲ』及び学校設定科目『スポーツ医科学演習』『スポーツトレーニング論』『スポーツ生理』『スポーツ情報処理』を履修

体育祭



昭和63年から男子全員で集団行動を開始



平成元年 集団演技に手旗信号を利用



平成7年 なぎなたを用いた女子演技



平成27年 フラッグダンス・ソーラン節



平成22年7月29日 西日本新聞掲載



平成21年6月17日 西日本新聞掲載



平成25年7月29日 西日本新聞掲載



平成22年6月16日 西日本新聞掲載



平成27年10月14日 西日本新聞掲載

進路実績

【4年制大学】

筑波大学、大分大学、福岡教育大学、鹿屋体育大学、福岡県立大学、早稲田大学、日本体育大学、中央大学、専修大学、国際武道大学、日本大学、明治大学、日本女子体育大学、亜細亜大学、嘉悦大学、愛知学院大学、中京大学、天理大学、立命館大学、近畿大学、徳山大学、福山平成大学、東亜大学、西南学院大学、福岡大学、九州産業大学、九州共立大学、九州女子大学、九州国際大学、西日本工業大学、日本経済大学、筑紫女学園大学、久留米大学、福岡女学院大学、日本文理大学、宮崎産経大学、九州東海大学 等

【短期大学】

日体大女短大、近大九州短大、福女院短大、西南女短大、中村学園短大、九女短大、香蘭女子短大、精華女短大、東筑紫短大、純真女短大、第一保育短大、西日本短大、佐賀短大、別府短大、長崎外短大 等

【専門学校】

福岡医健専門学校、九州医療スポーツ専門学校、宗像看護専門学校、北九州リハビリテーション学院 等

【就職】

東京消防庁、福岡県警、直方市消防、北九州市消防、自衛隊、郵政公社、トヨタ自動車九州、トヨタ自動車愛知、JR九州、直方東芝エレクトロニクス、新日本製鐵、日立製作所、住友金属、三井ハイテック、象印マホービン、直方信用金庫 等

目指す生徒像

高度な競技能力を持ったトップアスリートや 生涯スポーツ社会の担い手となる指導者

各個人の個性・能力を活かして、科学的思考力を身に付けさせるとともに
トップアスリートの育成を図る。

生涯にわたって運動やスポーツに親しむことのできる資質や能力を育成し、
スポーツライフの充実と体力の向上を図る。

スポーツを通じて豊かな人間性や社会性を育み、将来、地域社会に貢献できる
指導者育成を図る。

